

令和6事業年度に係る業務の実績に関する 評価結果への対応について

地方独立行政法人法第29条の規定に基づき、公立大学法人福知山公立大学評価委員会による「令和6事業年度に係る業務の実績に関する評価結果」の対応状況を公表します。

なお、以下に掲げる課題（指摘事項）は、全体評価及び大項目別評価等において課題として指摘されている事項のうち、本学において特に対応が必要であると考えられる事項から抽出しています。

■課題（指摘事項）1

課題 (指摘事項)	第4-1 教育に関する目標を達成するための措置 安定した入学志願者確保のため、近隣高校への出張講義、研究発表会やオープンキャンパスなど、全学的な取り組みが積極的に進められていることは評価できる。しかしながら、特に北近畿地域からの入学者獲得目標（20%）達成に向けては、依然として課題が残されているのが現状である。近隣高等学校との連携強化に向けた具体的施策の構築をはじめ、現状に甘んじることなく、さらなる改善と工夫を重ねていくことが強く望まれる。
課題対応	令和6年度に包括連携協定を締結した京都府立福知山高等学校とは、令和7年において、出張講義に加え本学の能登半島地震災害ボランティア活動に高校生も参加するなど連携を深めている。今後も、高校の特徴を汲んだ連携活動を実現できるように関係の深化に努力する。 また、令和7年度においても、近隣高校1校と包括連携協定を締結する予定である。

■課題（指摘事項）2

課題 (指摘事項)	第6 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置 外部資金の獲得については目標をもって進めることが望まれる。
課題対応	第3期中期目標期間に向けて、これまでの外部資金の獲得実績や、今後の研究活動、地域連携活動等の方向性を踏まえ、外部資金の到達目標の妥当性について検討を行う。